



神奈川県立 公文書館だより

第47号

編集発行 神奈川県立公文書館

〒241-0815 横浜市旭区中尾1-6-1

電話 045 (364) 4456

FAX 045 (364) 4459

https://archives.pref.kanagawa.jp/

休館日:月曜日、祝日(月曜日と重なる場合は翌日)、年末年始(12月28日から1月4日)

ひらがなは100以上あった!?

昔のひらがなを読んでみよう!

令和4年度 夏休み親子講座

令和四年七月三十一日(日曜)、十八組四十四名の参加者を迎え、夏休み小学生親子講座を開催しました。令和二・三年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、講座を開催することができなかつたので、講座自体が約三年ぶりの開催となりました。当館としても久しぶりの講座、それも七月に始まった感染拡大の第七波の中の開催とあって、期待と不安が入り混じる中で当日を迎えました。

今回の講座は、「昔のひらがなを読んでみよう」と題し、今ではほとんど使われていない変体仮名を親子で読んだ後、館内見学を行う内容です。

まずはひらがなの由来や、「昔のひらがな」すなわち変体仮名について説明を行いました。かつては様々なひらがなが使われていたこと、街中で目にする不思議な文字が実は「昔のひらがな」だったこと



街中の看板
読めるかな?

など、参加者の皆さんそれぞれに新しい発見があったようで、初めて見る変体仮名にとっても興味をもっていただけたようです。



スライドの一部

説明の後は、昔の小学校の教科書や童謡「ちようちよう」の歌詞など、変体仮名で書かれた当館資料を、実際に読んでみます。昔のひらがなの一覧表(和紙で作ったオリジナル下敷き)をお配りし、これを辞書代わりに使ってもらいました。この下敷きは、御自宅でも楽しめるクロスワードパズル等を収録したテキストとあわせて、お土産としても大変好評でした。



テキストと「下敷き」

頭を使った後は、館内を巡るバックヤードツアーです。普段は入ることのできない荷解・選別室や書庫を見学します。選別室では運搬用のレールに文書保存箱を流したり、書庫では扉の重さに驚いたり、こちらも初体験の連続で、盛況なツアーになりました。

終了後、参加者からは、「今度は閲覧室を利用したい」という声も上がりました。本講座が公文書館の機能と役割に理解を深め、利用につながる機会となったならば、これほど嬉しいことはありません。

公文書館では、「昔のひらがな」で書かれた資料をはじめ、歴史的公文書など、貴重な県民共有の財産を多数所蔵しています。今後、幅広い年代の皆さんに公文書館を利用していただけるよう、引き続き普及啓発に努めて参ります。

(資料課 関根豊)

企画展示「諸外国とつながる神奈川」 令和4年9月30日～令和5年3月31日 展示室

当館では、神奈川の人々と諸外国との関わりが示された古文書や歴史的公文書等を展示中です。ここでは、その一部をご紹介します。

幕末の外国船来航



この資料は、文政五(一八二二)年に浦賀沖へ来航した外国船を模写した絵図で、イギリス船「サラセン号」と推測されます。サラセン号はイギリスの捕鯨船であり、水や食料などの補給を行うために日本へ来航しました。

幕末の外国船来航としては、嘉永六(一八五三)年のペリーによる黒船来航が一番イメージされますが、その数十年前から、神奈川(当時は相模国)沖には外国船がしばしば来航していたのです。

南米への移住船

戦後の神奈川県では、約二十年にわた

り知事を務めた内山岩太郎が外交官出身で、特に南米諸国に駐在した経験を有していたことから、南米への移住施策が展開されました。



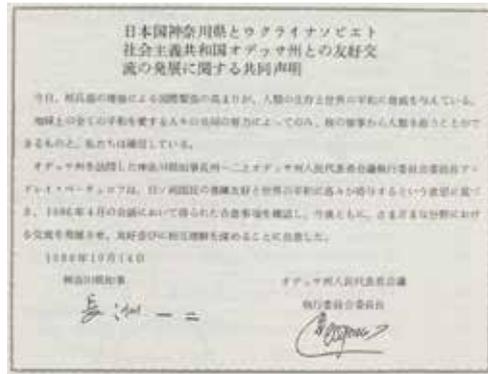
この資料は、昭和四十八(一九七三)年二月に県広報課が作成した「県政写真ニュース」で、最後の移住船が南米に向けて出発する様子を伝えています。以後の交通手段は飛行機となりますが、同ニュースは「ひとつの時代が終わった」と、やや物寂しげに結ばれています。

国際外交の推進

昭和五十(一九七五)年に就任した長洲一二知事は、国際外交を提唱し、海外との友好交流を進めました。

この資料は、昭和六十一(一九八六)年十月に知事がウクライナソビエト社会

主義共和国オデッサ州の人民代表者会議執行委員会委員長と調印した「友好交流の発展に関する共同声明」の写しです。声明には、相互理解の深化と世界平和への希求に関する文面が盛り込まれています。



展示のご案内

この他にも展示資料が多々ありますので、ぜひご来館ください。
なお、資料の劣化防止のため、期間中に他の資料に切り替わることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて中止又は開催方法等を変更する場合があります。

(資料課 内藤 潤)

企画展示

- ◆「諸外国とつながる神奈川」
令和4年9月30日(金)から
令和5年3月31日(金)まで
- ◆「三展示」
「崑山重忠と二俣川」
令和4年12月27日(火)まで

◆「Web展示(当館ホームページ)」
「山口コレクションの明治維新」

講座のご案内

- ◆「アーカイブズ講座」
令和4年11月19日(土)
- ◆「古文書講座入門編(全3回)」
令和5年1月8日(日)から
1月22日(日)の各日曜日
- ◆「古文書講座応用編(全3回)」
令和5年2月5日(日)から
2月19日(日)の各日曜日

事務室から

当館の敷地は昔ながらの里山の森が残されており散策路があります。今年から里山に詳しいNPO法人による管理が始まりました。丘の頂上付近にある「東屋(休憩所)」は三十年ぶりに屋根の葺き替えを行いました。県産木材を使った丸太ベンチも今後設置する予定です。次第に秋が深まるさわやかな季節、風の音や鳥の鳴き声を聞きながら散策してみませんか。

公文書館へのアクセス

電車の場合 相鉄線「二俣川駅」(横浜駅から特急または急行で11分)下車、二俣川駅北口より徒歩17分
二俣川駅北口より相鉄バス「旭23運転免許センター循環二俣川駅北口」行きで「運転免許センター」停留所下車、徒歩3分
バスの場合 「保土ヶ谷バイパス」本村インターから6分
※駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。